

## 第6章 計画の推進に当たって

○ 第二次教育振興基本計画の推進に当たっては、市教育委員会が中心となって、学校・家庭・地域・事業者等がそれぞれの役割を果たす中で、緊密に連携・協働しながら、各施策に取り組んでいきます。

○ 第二次教育振興基本計画に基づく各施策については、SDGsの視点にも配慮しながら、効果的かつ効率的に実施するとともに、計画期間における成果指標の達成状況等を点検・評価した上で、施策の充実と必要に応じた見直しにつなげるPDCAサイクルの推進に努めます。

その点検・評価に当たっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく事務の点検・評価を活用して毎年行い、その結果を公表します。

○ 第二次教育振興基本計画は、10年間の計画期間のうち、令和4年度から8年度までの5年を前期とし、9年度から13年度までの5年を後期として取り組むこととしており、後期の具体的な施策については、今後の社会情勢の変化を踏まえ、8年度中に策定することとします。

なお、施策の策定に当たっては、できるだけ客観的な根拠に基づくこととし、前期期間中に対応すべき新たな課題が発生し、計画の見直しが必要となった場合には、改定を検討します。

## 鹿児島市教育振興基本計画検討委員会名簿

| 氏名     | 推薦団体等          | 備考  |
|--------|----------------|-----|
| 秋元 達也  | 市高等学校          | 副会長 |
| 有村 真由美 | 市小学校長会         |     |
| 上國料 里美 | 鹿児島県特別支援学校長会   |     |
| 川島 英和  | 鹿児島県私立中学高等学校協会 |     |
| 河瀬 雅之  | 市中学校長会         |     |
| 土田 理   | 鹿児島大学教育学部      | 会長  |
| 富永 宏   | 私立幼稚園協会        |     |
| 藤 朱里   | 公募委員           |     |
| 松山 優   | 公募委員           |     |
| 丸田 真悟  | 市芸術文化協会        |     |
| 南 香織   | 市PTA連合会        |     |
| 森 裕子   | 社会教育委員         |     |

※五十音順、敬称略

## 用語解説

### アルファベットなど

#### 【AEA】

小学校における英会話活動協力員のことで、Assistant Teacher of English Conversation Activities の略。市立小学校において外国語及び外国語活動の補助、国際理解教育に関する教育への協力、小学校教員への英会話等の指導援助等を行う。

#### 【ALT】

Assistant Language Teacher の略。学校又は教育委員会に配置され、授業においては外国語担当教員の助手として職務に従事する。教材作成の補助も行う。

#### 【ESD】

環境問題や生物多様性の喪失など現代社会の問題を身近なところから取り組み、価値観や行動の変容を目指して行う教育活動のこと。

#### 【GIGAスクール構想】

1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを一体的に整備することで、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現するための取組。

#### 【ICT】

情報通信技術のことで、Information and Communication Technology の略。

#### 【ICT機器】

コンピュータ、電子黒板、デジタルテレビ、デジタルカメラ、書画カメラ（実物投影機）、プロジェクタなどのICTを活用した情報機器のこと。

#### 【KYT】

危険のK、予知のY、トレーニングのTをとった危険予知トレーニングの略称。

#### 【NPO】

Non Profit Organization（非営利組織）の略称。営利を目的としない公益的な市民活動などを行う民間の組織、団体のこと。

#### 【PDCAサイクル】

業務遂行に際し、計画を立て（Plan）、実行し（Do）、その評価（Check）に基づいて改善（Action）を行うという工程を継続的に繰り返す仕組み（考え方）のこと。

#### 【SDGs】

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標」のことで、「誰一人取り残さない」という理念のもと、「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現する」ことを目指した2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット及びその進展を評価するための指針を持つ包括的な目標。

#### 【SNS】

Social Networking Service の略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制のサービスのこと。

#### 【TOEFL】

Test of English as a Foreign Language の略。英語圏の大学への留学・研究を希望する者を主な対象とした英語の4技能（話す、聞く、読む、書く）のスキルを測定するテスト。

#### 【TOEIC】

Test of English for International Communication の略。オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーション能力を幅広く測定するテスト。

#### 【Wi-Fi】

ケーブルを使わず無線通信（ワイヤレス）でデータをやり取りする仕組みの1つ。

### 【35人学級】

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部改正に伴い、小学校（義務教育学校の前期課程を含む）の学級編制の標準が令和3年度から5年間かけて計画的に40人（小学校第1学年は35人）から35人に引き下げられる。

鹿児島県においては、既に小学校第1・2学年で30人の学級編制がされており、実質的には令和4年度から4年間かけて、第3学年から順次35人に引き下げられる。

### 【2030アジェンダ】

2015年9月の国連総会で採択された国際社会共通の目標。ミレニアム開発目標（MDGs）が2015年で終了すること受け、国連が向こう15年（2030年まで）の新たな持続可能な開発の指針として策定した。

## ア行

### 【あいご会コーディネーター】

あいご会活動の企画・運営等に対し指導・助言する立場の方で、あいご会やあいご子ども会活動が充実するよう、小・中学校、地域にそれぞれ配置している。

### 【明日の母親と父親のための家庭教育講座】

市立病院が主催する母親学級や保健センターが主催する母親・父親になるための準備教室において、妊婦やその配偶者等を対象に、生まれてくる赤ちゃんの心や体の発達、出産後の健やかな子育て、また親子の絆づくりや発達段階に応じた子育ての在り方等について学習する場として開設している講座。

### 【アプローチカリキュラム】

就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム。

### 【安心安全ネットワーク会議】

地域における安心安全なまちづくりを推進するため、地域の安全確保に関する自主的な活動を実施している防犯パトロール隊、スクールガード等の相互の連携や情報の共有を図る会議のこと。

### 【市立高等学校就職サポート事業】

市立高等学校新規卒業予定者の雇用創出に向けて、新規求人開拓を積極的に進めるために、就職支援員を配置し、各高等学校の就職支援を行う事業。

### 【インターンシップ】

児童生徒が自分の職業適性や将来設計について考える機会とするため、学習内容や将来の進路等に関する職業体験をすること。

### 【英検】

実用英語技能検定の略。英語のコミュニケーションに欠かすことのできない4技能（話す、聞く、読む、書く）をバランスよく測定することを目的とした（公財）日本英語検定協会が実施するテスト。

### 【英語スキット・スピーチコンテスト】

市立中学校と市内国立・私立中学校から、代表生徒が出場し、日頃の英語学習の成果を発表するコンテストのこと。2年生の部はスキット（2人組）、3年生の部はスピーチ（1人）を行う。

### 【栄養教諭】

児童生徒の栄養の指導及び管理をつかさどる教員のこと。

### 【オンライン】

コンピュータなどの機器がネットワークに接続された状態、あるいは、通信回線を通じて別のコンピュータなどに接続された状態のこと。

### 【オンラインゲーム】

インターネットに代表されるネットワークに接続して、同時に不特定の複数の人間が参加して行うゲームのこと。

### 【オンラインコンテンツ】

ウェブサイトに掲載された文章、動画、画像などの情報。

## カ行

### 【外国語指導コーディネーター】

令和2年度から設置。ALT、AEAの活用時間の増加に伴い、更なる指導力の向上を推進するに当たり、日本語や生活様式等の違いに不安を抱えるALT、AEAの支援や安心して職務を行うことができる環境整備を行う。

### 【ガイド学習】

複式学級における学習指導の一形態。児童集団から選ばれたガイドが、教員の指導のもとに立てられた学習計画によって学習をリードしながら共同で学習する方法。

### 【学習指導要領】

学校教育法施行規則に基づき、文部科学大臣が公示する教育課程の基準。現行のものは、改正教育基本法で明確になった教育理念を踏まえて、平成30年4月から改訂版への移行措置が始まり、令和2年度から小学校、3年度から中学校で全面实施されている。高等学校は、4年度から年次的に実施される。

### 【鹿児島市地域防災計画】

災害対策基本法に基づいて、本市の地域にかかる防災に関し、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図る計画。

### 【かごしま創志塾】

市内の中・高校生を対象にして、郷土かごしまへの愛着や誇りとともに、将来への夢や高い志を持ち、グローバルな社会で活躍できる能力や資質を有する次世代リーダーの育成を目的に実施。

### 【火山防災教育推進事業】

次世代を見据えた火山防災に関わる人材育成を図るため、火山災害時における対応や桜島の恵み、文化を学ぶための火山防災教育の取組として、市街地側の児童とその保護者を対象とした桜島訪問体験学習や専門家派遣授業等を行う事業のこと。

### 【学校運営協議会】

学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え地域とともにある学校づくりを推進する仕組み。

### 【学校支援ボランティア事業】

地域住民が積極的に学校支援活動に参加し、学校を地域ぐるみで支援することにより、教職員が児童生徒と向き合う時間の拡充と地域の教育力の活性化を図ることを目的とする事業。

### 【学校施設長寿命化計画】

第五次鹿児島市総合計画、鹿児島市公共施設等総合管理計画及び鹿児島市教育振興計画に基づく学校施設に関する個別計画であり、校舎、屋内運動場等の学校施設530棟が対象。

学校施設の目標使用年数を80年とし、計画的に改修・更新を行うことにより、学校施設の長寿命化及び改修・更新費用の平準化を図る計画。

### 【学校における業務改善アクションプラン】

教職員が学校に在籍している時間の短縮や効率・効果的な業務の推進など長時間勤務の削減方策として、本市の実情に即した数値目標を設定し、中長期的な具体的な取組を取りまとめたもの。

### 【学校版環境ISO認定校】

学校で児童生徒と教職員が、電気を無駄に使わないなど環境にやさしい学校づくりについて考え、行動するために国際規格ISO14001の考え方（PDCAサイクル）を取り入れ、本市が定めた仕組みに認定された学校のこと。

### 【学校評価】

学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・発表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めるための評価。

### 【家庭教育学級】

家庭教育の重要性を認識し、家庭環境や家庭教育の在り方についての理解を深め、健全な子どもの育成や親としての資質の向上を図ることを目的として、市立小・中学校に設置している学級。

### 【家庭教育セミナー】

市内の幼稚園・認定こども園・保育所と連携して、乳幼児の保護者を対象とし、乳幼児期における家庭教育の充実を図るためのセミナー。

### 【危機管理・学校防災マニュアル】

危険等が発生した際に教職員が円滑かつ的確な対応を図るため、学校保健安全法に基づき、すべての学校において作成が義務付けられているもの。

### 【危険予知トレーニング（KYT）】

学習者が、教材である絵や写真などに潜んでいる危険を予想し指摘しあうことで、現実生活の危険に気付き、危険に遭遇しないためにはどのように行動するのかを考え、自ら安全な行動がとれるよう安全意識を高めることを目的とする学習活動のこと。

### 【危険予知トレーニング（KYT）教材】

イラストや写真等を使い、様々な場面に潜む危険、その危険を避けるための適切な行動等について考え、安全のためには、危険を予測し、適切に対処することが必要であることを学習する教材のこと。

### 【キャリア教育】

児童生徒が「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って、日々の学校生活に取り組む姿勢や、激しい社会の変化に対応し、主体的に自らの進路を選択・決定できる能力や望ましい勤労観・職業観を身に付け、様々な課題に柔軟に対処し、社会人・職業人として自立していくことができるようにする教育。

### 【キャリアパスポート】

児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

### 【キャリアプラン】

自分の将来の理想像を明確にし、理想の実現を目指して構築された具体的な行動計画。

### 【教育用ネットワーク】

市教育委員会と市立学校間を結ぶ通信回線網のこと。

### 【合理的配慮】

障害のある人となない人の平等な機会を確保するために、障害の状態や性別、年齢などを考慮したサービス等を提供することであり、均衡を失った又は過度の負担を課さないもの。

### 【個性あふれる学校づくり推進事業】

学校の「総合的な学習の時間」等において、体験活動を充実させ、地域の人材や外部講師を授業に活用するための費用やバスの借上料や施設入館料等について、必要経費を支給する事業。

### 【五領域】

幼稚園修了までに育つことが期待される「生きる力」の基礎となる心情、意欲、態度などであり、幼児の発達の側面から心身の健康に関する領域「健康」、人との関わりに関する領域「人間関係」、身近な環境との関わりに関する領域「環境」、言葉の獲得に関する領域「言葉」及び感性と表現に関する領域「表現」として幼稚園教育要領に示されている。

## サ行

### 【さつまっ子育成市民大会】

次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる子どもたちを市民総ぐるみで育成するために設置された会議の大会であり、学校や地域での実践活動の成果等を通して、市民総ぐるみで青少年の健全育成を図ることを目的としている。

### 【自主学习グループ活動】

公民館において講座等で学習活動を行った人たちが、学びを継続するために、自主的にグループを作り、定期的に学習すること。

### 【指導主事】

学校における教育課程、学習指導、その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事する者。

### 【社会教育関係指導者】

地域やPTAなど社会教育関係団体の中でリーダーとして活動している人。県や市のリーダー研修会等で資質向上を図ったり、各団体で自主的に学習会を行ったりしている。

### 【主権者教育】

国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成する教育のこと。

### 【主体的・対話的で深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」のこと。

### 【ジュニア創志塾】

市内の小学校5・6年生を対象に、かごしま創志塾の目的に沿って、鹿児島の歴史や文化、科学に関する学習等の体験的な学びを実施。

### 【生涯学習情報システム(キュートピア・ネット)】

鹿児島市生涯学習情報システムの愛称で、生涯学習や男女共同参画に関する講座やイベントなどの様々な情報を入手できたり、生涯学習プラザや地域公民館、スポーツ施設、公園施設などの案内や予約情報を確認できる。利用者登録をすると、施設利用の予約や講座の申込みをすることができる。

### 【鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針】

児童生徒数の減少などにより、学校規模の偏りが顕著となる状況の中で、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備し、充実させていくことを最優先とすることなど、本市の学校規模適正化・適正配置に関する基本的な考え方や方向性をまとめたもの。

### 【小中一貫教育】

教育内容や学習活動の量的・質的充実への対応や小学校から中学校への接続をより円滑にするため、教員間や保護者、地域住民で教育目標や目指す子ども像を共有し、その達成に向け義務教育9年間を通して系統的な活動を展開する教育のこと。

### 【少年サポートセンター】

街頭補導活動や少年相談活動、問題行動を繰り返す子どもの立直り支援などを行う警察機関の1つ。県警本部少年課内に事務所が、鹿児島中央駅地下通路に鹿児島中央駅分室がある。

### 【消費者教育推進事業】

消費者教育の推進に関する法律及び鹿児島市消費生活条例に基づき、市立中・高校生が消費者トラブルに巻き込まれないために、講師を招聘し、講演会や出前授業を実施する事業。

### 【情報モラル】

情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度のこと。

### 【スクールカウンセラー】

児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修などの業務に当たる教育関係者などのこと。

### 【スクールロイヤー】

子どもを取り巻く課題の解決に向けて、学校がどのように対応すべきかを法的な視点から助言・指導する役割を果たす弁護士のこと。

### 【スタートカリキュラム】

小学校に入学した児童が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

### 【ストレスマネジメント教育】

ストレスをコントロールすることで、心身の健康を保ち、よりよい生活を送るためのスキルを獲得する教育。

### 【成人学級】

時代の変化に積極的に対応し、創造性豊かで、生きがいのある暮らしや地域づくり及び地域の教育力の向上に役立つ内容を学習することを目的とし、各小学校区で開設している。

### 【青少年育成センター青少年育成委員】

青少年の健全な育成を図るため、街頭における青少年への声かけや青少年に有害な環境の点検等を通して、問題行動等の未然防止、早期発見・指導に努める育成委員。

### 【セーフコミュニティ】

「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組、または、その取組を進めているコミュニティのこと。

### 【セキュリティポリシー】

組織内の情報セキュリティを確保するための方針、体制、対策等を包括的に定めた文書。

### 【ゼロカーボンシティかごしま】

2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に、市民や事業者等と一体になって取り組むこと。

### 【全国学力・学習状況調査】

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とした国の調査。



### 【ソーシャルメディア】

インターネットを利用して誰でも手軽に情報を発信し、相互のやりとりができる双方向のメディアのこと。

## タ行

### 【第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画】

すべての子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的に環境整備を推進するための計画。計画期間は、令和3年度から7年度までの5年間。

### 【第四次かごしま市食育推進計画】

家庭や地域、保育所・幼稚園・小・中学校等、また食料の生産者など食に関する関係機関・団体等が連携して、食育を推進するための計画。計画期間は、令和4年度から8年度までの5年間。

### 【タブレット端末】

直接液晶ディスプレイをタッチして操作することができる平板状の持ち運び可能な端末。

### 【父親セミナー】

青少年、特に中学生の、思春期特有の悩みなどの解決には、父親の家庭教育への参画が重要であることを認識するとともに、家庭及び地域社会における父親の役割についての理解を深め、健全な青少年の育成を図ることを目的として、市立中学校に開設している学級。

### 【超スマート社会 (Society5.0)】

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

### 【ティーム・ティーチング】

複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式のこと。

### 【データベース化】

集めたデータを使いやすく、有効活用できるように整理し、まとめたもの。

### 【デジタルミュージアム】

美術品や工芸品などの歴史・文化資産等をデジタル技術でデータベース化し、誰もが閲覧できるように公開したサイト。

### 【電子書籍】

従来は印刷して図書の形で出版されていた著作物を電子メディアを用いて出版したもの。

### 【電子図書館】

資料と情報を電子メディアによって提供すること。

### 【特別支援教育】

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握・整理し、適切な指導及び必要な支援を行う教育。

## ナ行

### 【ネット犯罪】

サイバー犯罪のこと。不正アクセス、コンピュータ関連詐欺、児童ポルノ関連犯罪などの「情報技術を悪用した犯罪」を意味する。

### 【日本遺産】

地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するもの。令和4年3月1日時点で、全国で104件が認定されている。

## ハ行

### 【標準学力検査】

全国的に標準化された学力を測定する検査。児童生徒の学力（主に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」を評価する）の到達度を測ることができる。

### 【フィルタリング】

青少年を違法・有害情報との接触から守り、安全にインターネットを利用する手助けをするサービス。

### 【複式学級】

児童生徒数が特に少ない学校で、異なる学年の児童生徒で編成された学級。

### 【副読本】

教科書等の補助となるように作成された本のこと。

### 【不登校児童生徒】

何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況にある児童生徒のこと。（病気や経済的理由を除く。）

### 【フレンドシップ】

適応指導教室の名称。市内に5カ所設置しており、不登校や緊急避難を必要とする児童生徒に、様々な活動を通じた支援や指導を計画的かつ組織的に行い、それらを通して集団生活や学業への適応力を高めるための支援を行う。

### 【プログラミング教育】

コンピュータをより適切かつ効果的に活用していくためには、その仕組みを知ることが重要であることから、プログラミングによりコンピュータの仕組みを理解させるとともに、論理的思考力を身に付ける教育活動のこと。

### 【防災ノート】

防災教育のさらなる充実を図るため、平成25年12月に鹿児島市が独自に作成したもの。令和2年3月には、近年、全国で発生している台風や豪雨による風水害、今後予想される桜島の大噴火等に鑑み、内容の見直しを行った。

## マ行

### 【メンタルヘルス】

心の健康を意味しており、自身の可能性を認識し、日常のストレスに対処でき、生産的かつ有益な仕事ができ、さらに自分が所属するコミュニティに貢献できる健康な状態である。

教職員のメンタルヘルス相談事業として、教職員よろず相談、メンタルヘルス相談、教職員電話健康相談24等がある。

### 【明治日本の産業革命遺産】

19世紀以降、日本が非西洋地域で初めて、かつ極めて短い期間のうちに近代化を果たしていく過程に大きく貢献した産業遺産群で、平成27年7月にユネスコ世界文化遺産に登録された。

## ヤ行

### 【有害環境点検調査】

図書やDVD等の販売店・レンタル店等の事業者に対して、有害図書・ソフトの区分陳列、店員が容易に監視できる場所への配置、青少年へ販売・貸付け等しないこと等、各地方公共団体の青少年保護育成条例に基づく対策の徹底の指導を目的とした点検・調査。

### 【夢 すこやか ファイル】

特別な配慮や支援を要する子どもの乳幼児期から成人に至るまでの教育・医療・保健・福祉・労働等の状況や支援体制について記録することができるファイル。鹿児島市ホームページからダウンロードすることが可能。

### 【幼保連携型認定こども園】

幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、教育と保育を一体的に行う施設。

## ラ行

### 【ライフステージ】

人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。

### 【レファレンスサービス】

利用者が必要とする情報を、図書館の資料や機能を使って提供するサービスのこと。

### 【レフェラルサービス】

利用者が必要とするテーマに関する情報の情報源(人、機関など)を提供するサービスのこと。

## ワ行

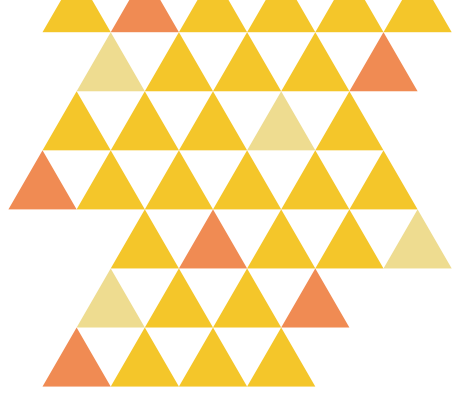
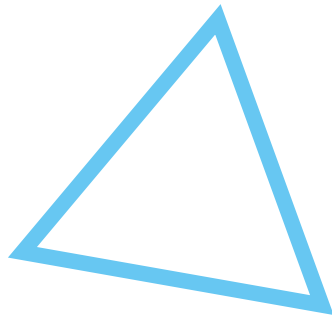
### 【ワンクリック請求】

インターネットや携帯電話のウェブサイトを利用したとき、リンクを一回クリックするだけで料金が請求されること。

第二次鹿児島市教育振興基本計画

令和4年3月

発行 鹿児島市教育委員会事務局管理部総務課  
住所 〒892-0816 鹿児島市山下町6番1号  
電話 099(227)1926  
FAX 099(222)8796  
掲載 鹿児島市ホームページ



あなたとわくわく



マグマシティ  
鹿児島市

